

新井英一、カフェアンデパンダン、ふたたび。

カフェ・アンデパンダンこけら落としライブから13年—
いま、ふたたびここで“魂ブルース”が動き出す



EIICHI ARAI LIVE in CAFE INDEPENDANTS 2011

～新井英一 カフェ・アンデパンダン、ふたたび～

2011年4月1日(金) 18:00開場 / 19:30開演

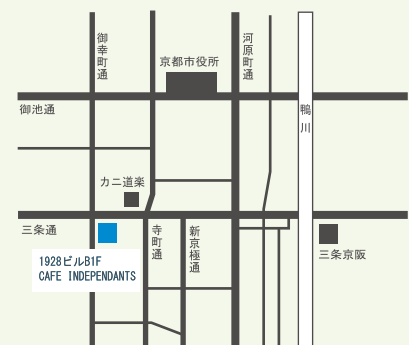
会場：カフェアンデパンダン(京都市中京区三条通御幸町角1928ビルB1)

チケット：前売5,500円 / 当日6,000円(ドリンク&フード付)

前売り予約 TEL/FAX : 075-256-6155

E-mail : info@cafe-independants.com

※前売り予約は先着順となります。お早めにお申し込み下さい。



京都市中京区三条通御幸町南東角1928ビルB1
Tel. 075-256-4312
<http://www.cafe-independants.com/>

新井英一：

あらいえいいち。1950年3月福岡生まれ。15歳で家を出て岩国の米軍キャンプなどで働き、ブルースに魅せられる。21歳で渡米し、放浪生活の中で歌手を志し独学で歌作りを始める。日本で生まれ育ち、朝鮮半島の血を引く自らを「コリアンジャパニーズ」と呼ぶ。帰国後、内田裕也氏に見い出され、アルバム『馬耳東風』(1979年)でデビュー。1986年、様々な葛藤と不安を抱き、亡くなった父親の故郷である韓国・清河(チョンハー)を初めて訪れる。数年後、その旅の思い出と共に自らのルーツと半生をストレートに歌い上げた『清河への道〜48番』を作り、1995年に一枚のアルバムとして発表。TBS-TV「筑紫哲也ニュース23」のエンディングテーマ曲に選ばれ、テレビ、雑誌、新聞等で取り上げられ話題となる。そのアルバムは第37回日本レコード大賞「アルバム大賞」を受賞。韓国KBS-TVでドキュメント特別番組が放映され、日本でもNHK「わが心の旅」、テレビ朝日「報道特別番組21世紀への伝言」等多数の番組に出演。またライブにおいては国内はもとより、N.Y.カーネギーホールなどでのアメリカ公演に加え2000年はパリでもライブを開催、そして2002年には韓国ツアーが実現。念願であった「清河村」でのライブを成功させている。2004年アルバム『生きる』をリリース。今もなお、国内外問わず精力的に妥協することなく唄い続けている。

CAFÉ INDEPENDANTS